

- 牛久市では、牛久自然観察の森の活動を通じて、国内の森林整備の結果、産出される間伐材の利用や、広く市民にその利用について普及啓発に取り組むことに森林環境譲与税を活用していく方針である。
- 令和6年度においては、以下の取り組みを実施。令和7年度においても同様に進めていくことにしている。

□ 事業内容

自然観察の森での森林整備及び木育活動の充実

- ・ 施設内の森林整備及び木育ひろばで遊べる木製玩具等を製作。施設内及び外部出張にて、普及啓発を実施。

【事業費】44,372千円（うち譲与税887.0千円）

（譲与税は、施設内森林整備費、木育玩具製作費に係る部分に充当）

【実績】木育ひろば利用人数 年間 22,714人

□ 取組の背景

- ・ 間伐等を行い森林整備を行うことで、園路の安全性や雑木林の更新、既存植生の光環境の改善により草本類の多様性の維持を進める。
- ・ 市内にある牛久自然観察の森で、赤ちゃんから大人までを対象に開催している木育体験を通じ、木の温もりを感じ、香りに包まれる体験により、森林に興味を持ってもらうきっかけづくりや森林資源の普及啓発活動を行う。



（うしくの山登り）



（うしくのワイナリー）



（サクラの伐採）

□ 工夫・留意した点

・ 令和6年度、森林整備に関しては昨年度に引き続き園内の樹木更新を推進するため大径木や枯木、穿孔性昆虫による被害木に留意した。

・ 普及啓発活動についてはネイチャーセンターにおいて木育体験活動を実施。体験価値や満足度を高めるため解説員による普及啓発を積極的に行った。

□ 取組の効果

・ 森林整備に関しては、外周沿いを中心に老朽化したサクラの伐採を行なった。また穿孔性昆虫（カシノナガキクイムシ）による被害木の間伐、枯死したヒノキの伐採等を行い外周道路や隣接施設、園路沿いの安全を確保することができた。

・ 子育て支援の一環として開催している出張木育ひろばについては、牛久市こども家庭課と連携を取り、近隣住民や利用する親子に対して木のおもちゃと触れ合う機会を設けるとともに子育て世代の森林に対するニーズを把握し、木育体験活動にフィードバックに繋がった。

・ 木育体験活動充実を図るため新たに木製玩具を製作・設置。木との触れ合いや森林が持つ多面的機能の理解を深めるとともに地域の観光資源への普及も行うなど木育体験を通じて地域振興に寄与する場を創出した。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：12,403千円		②私有林人工林面積（※1）：489ha	
③林野率（※1）：20.1%	④人口（※2）：84,651人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 牛久市では、緑の補助金を交付し、巨木や森林の維持管理をしていただくことで森林を保護することに森林環境譲与税を活用していく方針である。
- 令和6年度においては、以下の取り組みを実施。令和7年度においても同様に進めていくことにしている。

□ 事業内容

緑の補助金交付による巨木や森林の保護

- ・市民の木(10,000円/本) : 350,000円
- ・市民の森(30円/㎡) : 343,300円
- ・市民の森維持管理団体
(2団体、1団体当たり50,000円) : 100,000円
- ・みどりの保全区(10円/㎡) : 1,908,700円

【事業費】2,702千円（うち譲与税2,702千円）

【実績】緑の補助金交付人数 54人

□ 取組の背景

- ・市民の木や市民の森、みどりの保全区に指定している土地について、みどりの補助金を交付することで、地権者の方々に維持管理をしていただき森林整備を行う。



（市民の木）



（市民の森）

□ 工夫・留意した点

- ・地権者の方々のご理解・ご協力が得られないと継続できない事業であるため、夏場を避け秋から冬にかけて補助金の交付を行っている。

□ 取組の効果

- ・失われつつある巨木・森林等に補助金を交付し、整備することにより、貴重な自然環境が失われることなく、保全されている。
- ・貴重な樹木や森林の整備を地権者各々が行うことにより、動植物を保護し、環境保全への意識を高める。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：12,403千円		②私有林人工林面積（※1）：489ha	
③林野率（※1）：20.1%	④人口（※2）：84,651人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 平成20年度ならびに21年度に身近なみどり整備推進事業を用いて整備した牛久城址を継続して整備することで、良好な森林環境の提供を図る。
- 令和7年度においても、引き続き整備を進めていく。

□ 事業内容

城中環境整備事業

- ・牛久城址の環境整備等を地元行政区が行い、年7回程度、下草刈り等の整備を行い、良好な森林環境を維持するもの。

【事業費】860千円

【実績】830,524円（うち譲与税830,524円）

□ 取組の背景

- ・地元住民の力を借りて下草刈り等の整備を行うことで、良好な森林環境の維持を進める、また地域の憩いの場として整備している。



（↑牛久城址内の道）

（↓牛久城址内の広場）



□ 工夫・留意した点

- ・毎週日曜日を活動日としており、天候や行政区行事に左右されながらも、毎回多くの方に集まっていただき活動を行った。
- ・地権者の方々のご理解・ご協力が得られないと継続できない事業である。

□ 取組の効果

- ・年6回、のべ約140名程度が森林整備活動に参加され、良好な森林環境の維持ができています。また、地元団体は代替わりがうまく進んでいるようであり、今後も継続して整備活動を行っていく見込みとなっています。
- ・いばらきヘルスロード（牛久沼かっぱの小径コース）に指定されており、毎日散歩や散策をされる方がいます。
- ・ドラマの撮影においても活用されました。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：12,403千円		②私有林人工林面積（※1）：489ha	
③林野率（※1）：20.1%	④人口（※2）：84,651人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より